

FMC着信における課金方式

平成18年3月2日

KDDI株式会社

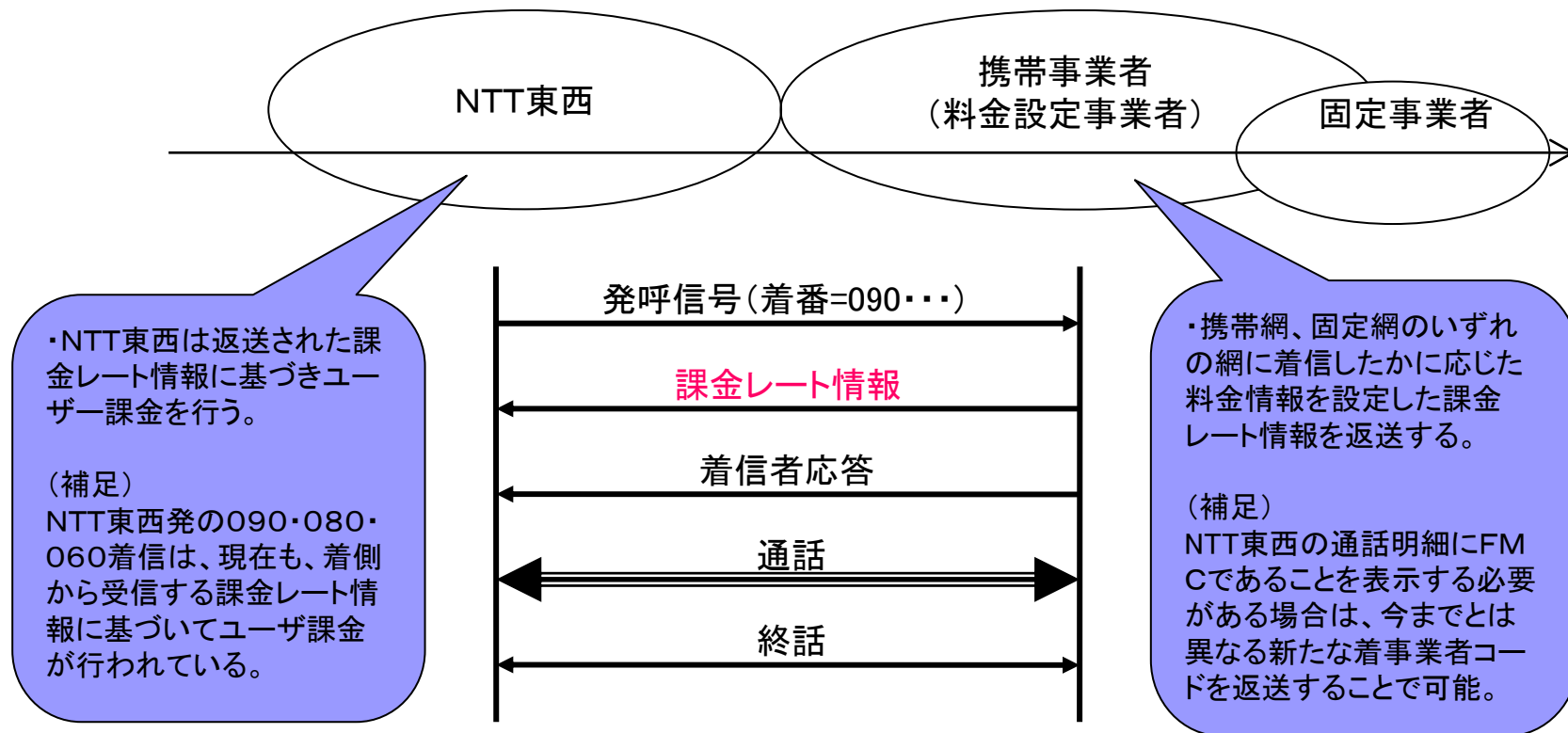


FMC着信における課金について

- 基本的に、現在規定されている網間転送情報を用いて課金することが可能。
- ユーザ課金に必要な情報は、課金レート情報と着事業者コードの2つ。

携帯電話タイプの課金の仕組みの例 (パターン1)

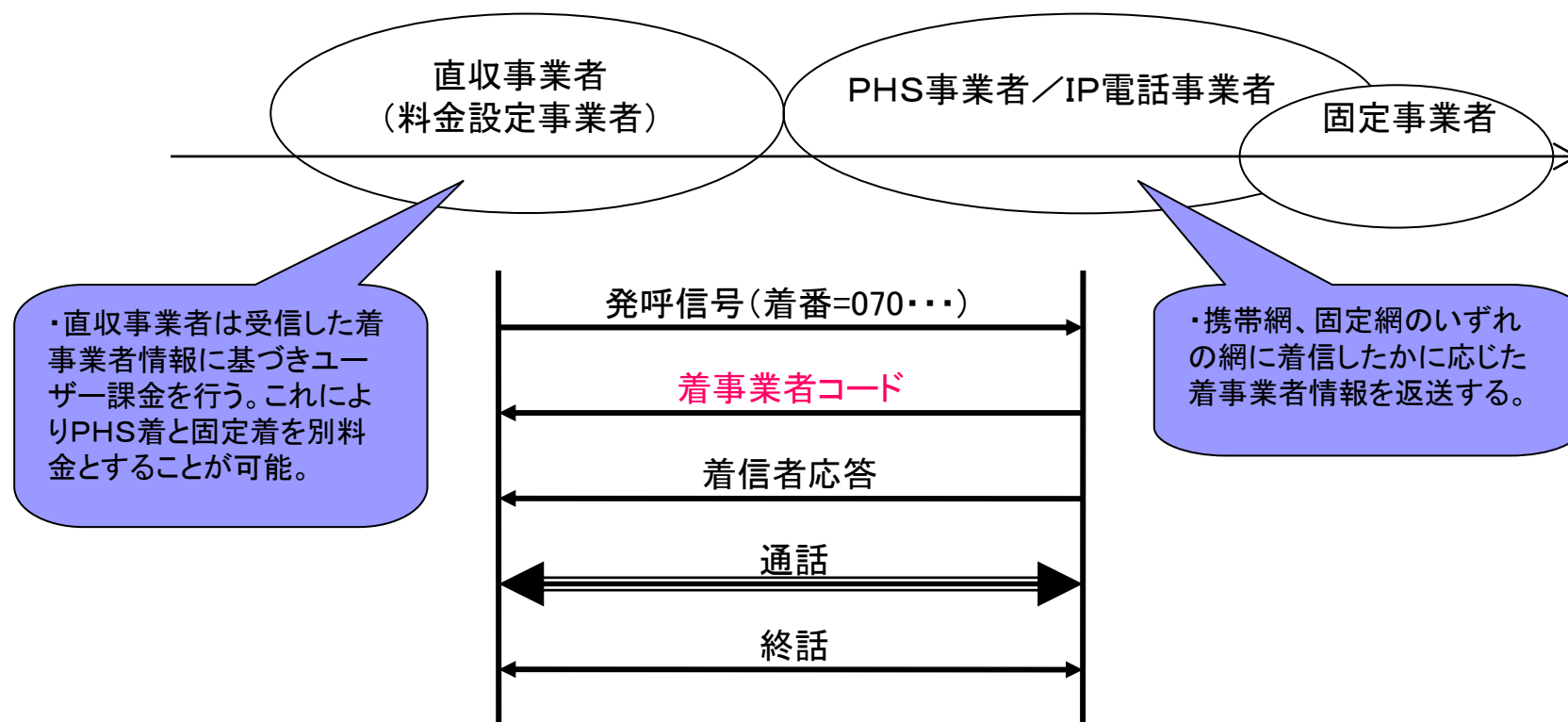
NTT東西発の090ダイヤル時



(注) 060を着側料金設定とすれば本パターンと同じ。

発側料金設定の課金の仕組みの例 (パターン2)

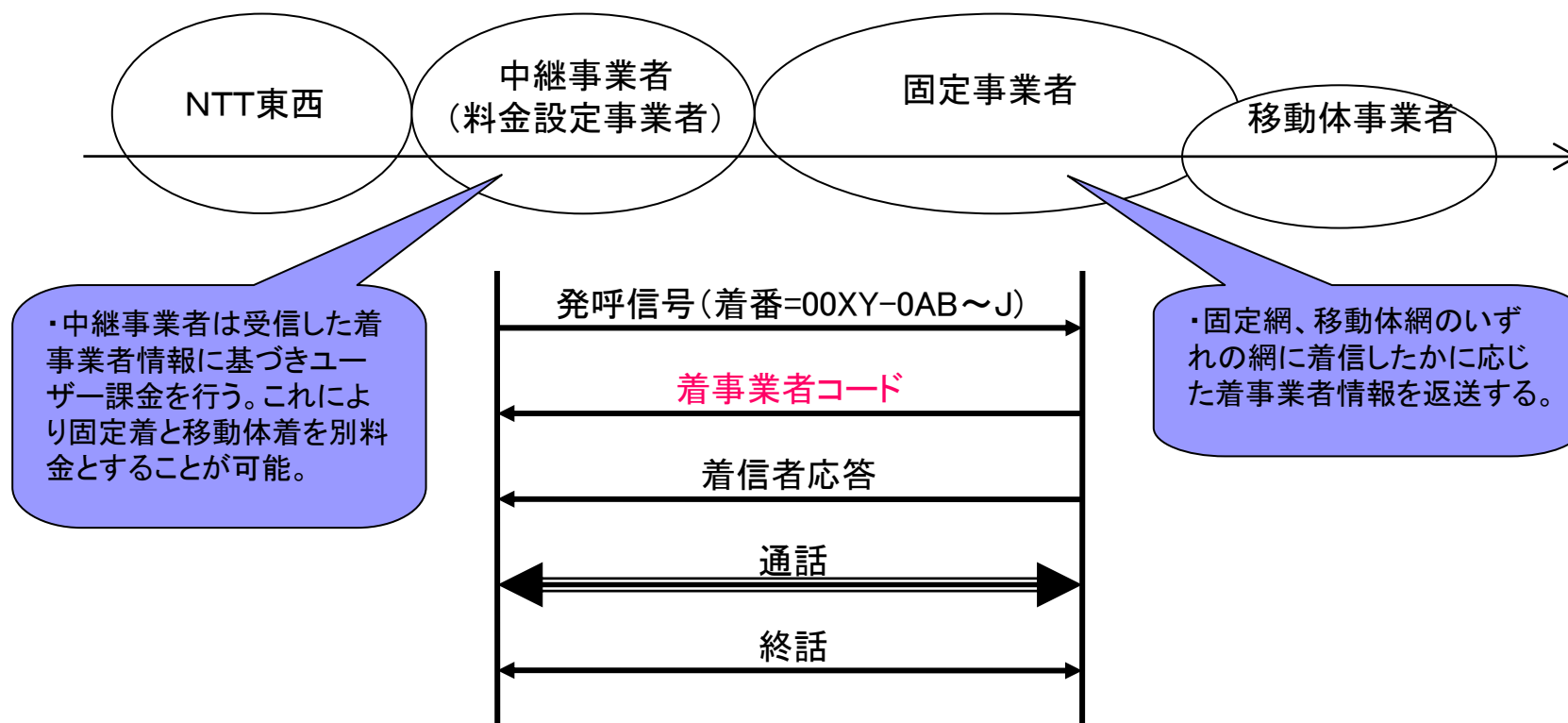
直収電話発の070/050ダイヤル時



(注) 060を発側料金設定とすれば本パターンと同じ。

中継事業者料金設定の課金の仕組みの例 (パターン3)

NTT東西発の00XY-0AB~Jダイヤル時



(注) 060を中継事業者料金設定とすれば本パターンと同じ。

各パターンのFMC番号と課金方式

分類	FMC番号 (既存番号は、各パターンで実現の可能性が高い番号)		課金方式		
	新番号	既存番号	料金設定	料金請求・回収	仕組み
パターン1	060	090/080	着側事業者 (注1)	発事業者	FMC事業者から発事業者に送られる課金レートに基づきユーザ課金を行う。
パターン2	060	090/080 050/070 0AB~J	発事業者		着側から送られる着事業者コードに基づきユーザ課金を行う。 (移動体着や固定着を着事業者コードで判別する)
パターン3	060	090/080 0AB~J	中継事業者 (注2)		

(注1) FMCを構成する事業者のうち当該FMCの提供主体となる事業者

(注2) 00XYで選択された中継事業者